

前線に伴う降雨による防災情報（第3報）

最上川ダム統合管理事務所では、前線に伴う降雨により、7月20日0時30分に災害対策支部（警戒体制）を設置して警戒にあたっておりましたが、寒河江ダムへの流入量が洪水量（毎秒200m³）を下回り、さらに流入量が減少していることから、最上川ダム統合管理事務所の体制を7月20日2時00分に「警戒体制」から「注意体制」に移行しました。

1. 災害対策支部（体制）

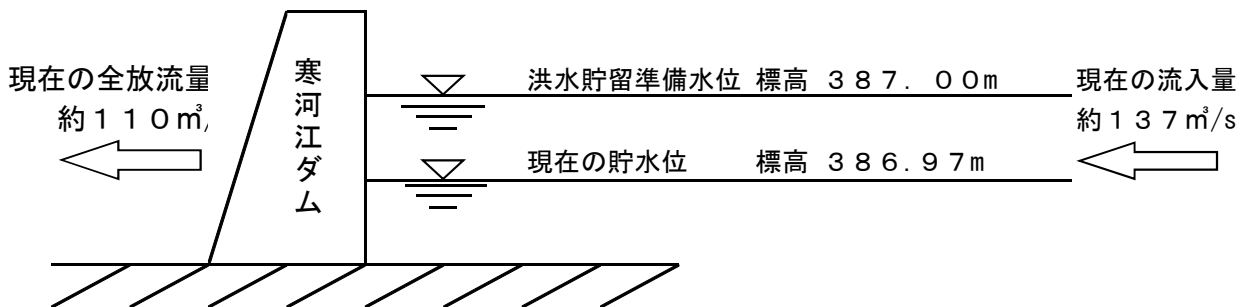
令和4年7月19日 23時30分 災害対策支部（注意体制）
令和4年7月20日 0時30分 災害対策支部（警戒体制）
令和4年7月20日 2時00分 災害対策支部（注意体制）

2. 管内ダムの現在の状況

7月20日2時00分現在の寒河江ダムの状況は以下のとおりです。

寒河江ダム

ダム貯水位： 標高 386.97m
ダム流入量： 約 137m³/s
ダム放流量： 約 110m³/s（発電のための放流含む）
流域平均時間雨量： 1時間に 2.5mm（1時00分～2時00分）
流域平均累加雨量： 降り始めから 55.6mm（7月19日11時00分～7月20日2時00分）



3. 今後の見通し

次の洪水に備えるため、ダムからの放流は継続しますので、下流河川の水位が高い状態が続きます。十分注意してください。

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関158
副所長 サイトウ カンヒロ 齋藤 克浩（内線204）
管理課長 シンバ トシアキ 柴田 敏明（内線331）
電話 0237-75-2311（代表）